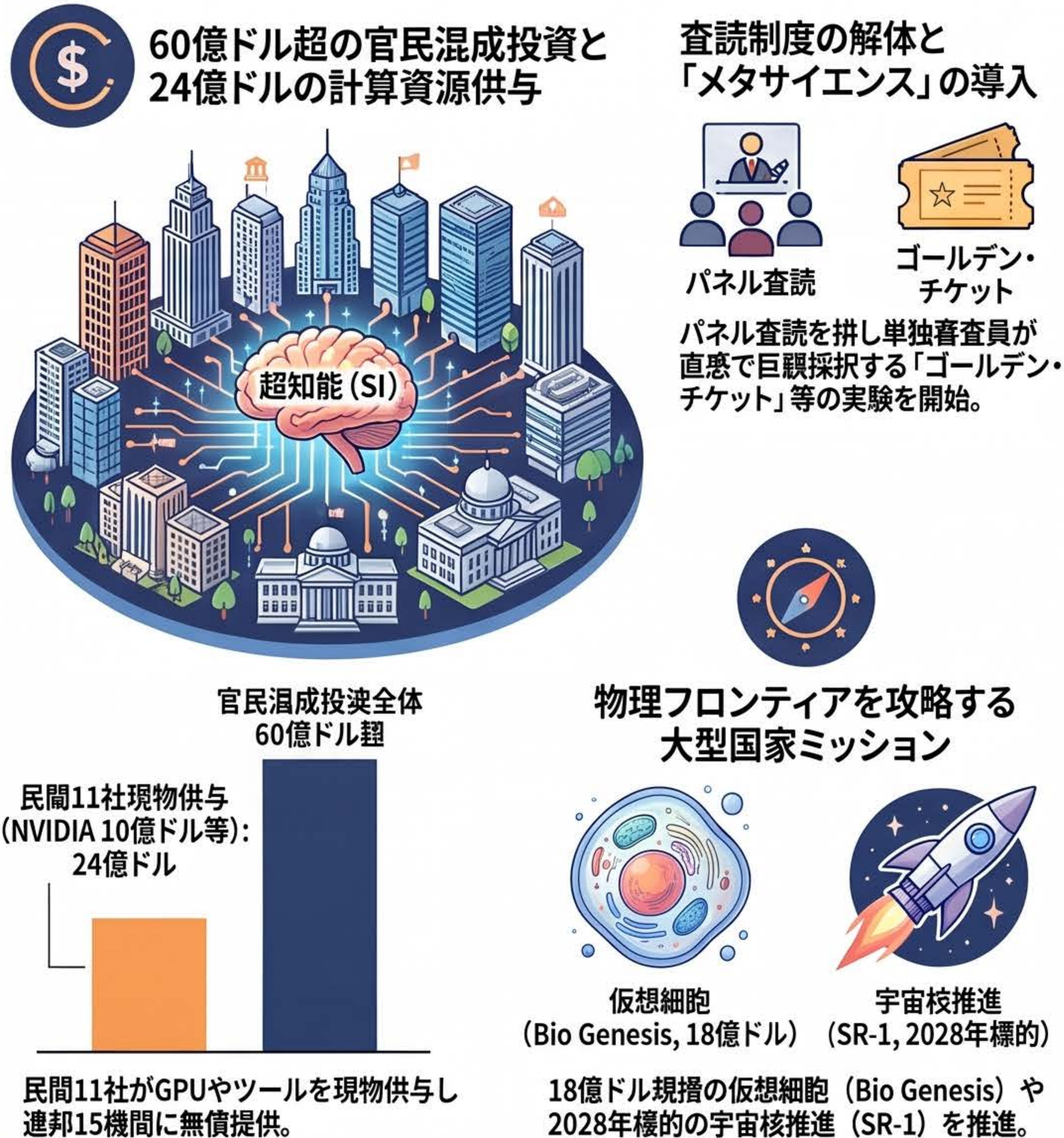


# 日米の次世代科学技術戦略：AIが拓く「科学の新黄金時代」の対比

米国の国家主導型大規模AI科学イニシアチブと、日本の強みを活かした領域特化型「AI for Science」戦略の違いおよび日米連携の構造

## 米国モデル：巨大資本と「超知能 (SI)」による全方位型国家動員



## 日米連携の構造

日米で計10億ドルを共同投資する戦略的パートナーシップ

11分野の共同研究 (富岳と米スパコンの連結)  
日米双方が各5億ドルを拠出し「富岳」と米スパコンを連結した11分野の共同研究を推進。

## 日本モデル：強みを研ぎ澄ます「フィジカルAI」と領域特化戦略

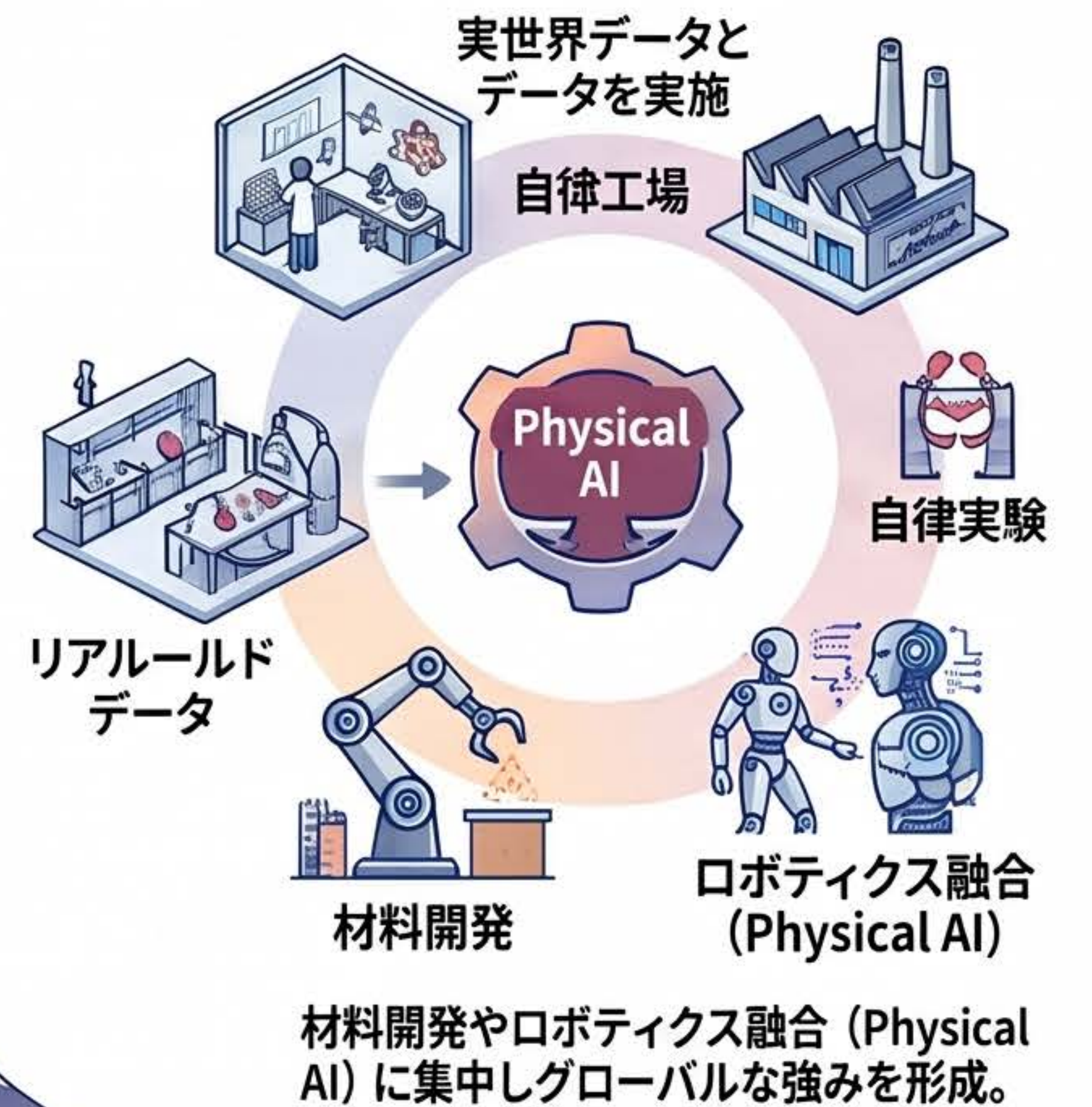
集中投資と裾野拡大を両立する二層型の資金配分

大型基金「ARISE」(320億円) スピード・抽選採択「SPReAD 1000」(50億円)  
大型基金「ARISE」(320億円) とスピード・抽選採択の「SPReAD 1000」(50億円) を展開。

### 戦略的重点領域

AI駆動材料  
Physical AI (ロボティクス)  
富岳NEXT

実世界データと自律実験を核とした「不可欠性」の確保



## 日米の科学技術イニシアチブにおける主要な構造的違い

| 比較項目       | 米国 (Genesis Mission / Golden Age) | 日本 (AI for Science / GENIAC)       |
|------------|-----------------------------------|------------------------------------|
| 主な財源構造     | 官民混成 (国費助成+巨大IT24億ドル現物供与)         | 財政資金主体 (補正予算、基金、大学ファンド運用益)         |
| 評価・審査メカニズム | ゴールデン・チケット、ファスト・グラント等             | CO-PI制 (委託)、SPReAD (一部抽選採択供用)      |
| 戦略的重点領域    | 宇宙核推進、誤り耐性量子、仮想細胞など全方位            | AI駆動材料、Physical AI (ロボティクス)、富岳NEXT |